

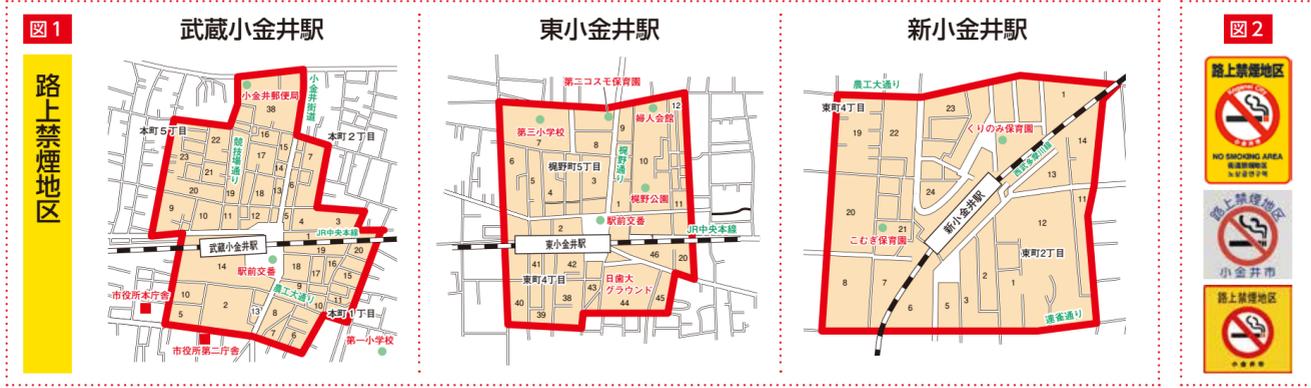
# 駅周辺での路上喫煙を禁止しています

JR武蔵小金井・東小金井駅、西武多摩川線新小金井駅を中心としたエリアで、道路上での喫煙を終日禁止する「路上禁煙地区」（図1）を指定しています。地区内には、路上禁煙地区であることが分かるように表示（図2）をしています。

この「路上禁煙地区」は、まちをきれいにする条例第11条第2項において、

「何人も、路上禁煙地区においては、道路上で喫煙してはならない。」と定めており、小金井市民に限らず、すべての人が対象となります。

喫煙者の皆さんには、路上禁煙地区内の道路上では一切の喫煙をご遠慮いただき、屋外で喫煙する際は携帯用吸い殻入れを使用するなど、歩行者の安全確保およびまちの美化にご協力をお願いします。



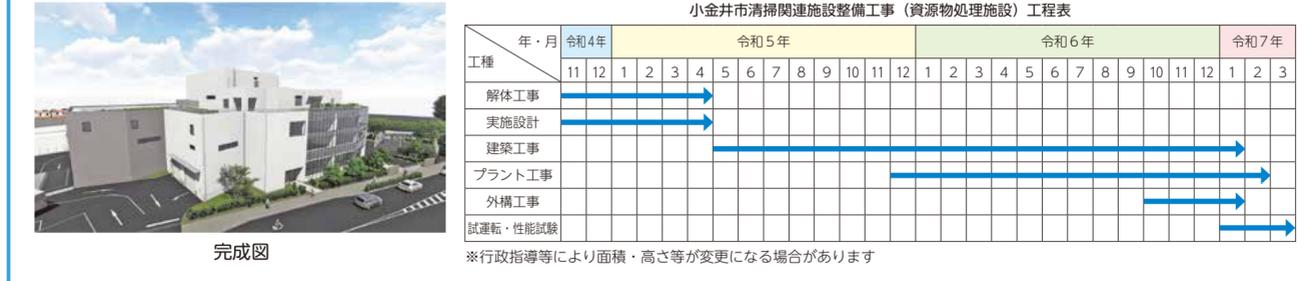
## 資源物処理施設整備事業の進捗状況をお知らせします

市では、不燃・粗大ごみ、資源物の処理について、施設の老朽化等を考慮し、循環型社会の形成に資する施設の再配置を進め、適正処理の維持を図るため、清掃関連施設整備基本計画を策定し、計画に基づいて中間処理場（貫井北町）と二枚橋焼却場跡地（東町）を建設予定地として事業を進めてきました。

中間処理場に整備を進めている資源物処理施設については、令和4年10月から敷地内建物の解体工事が始まり、解体工事は令和5年4月末までを予定しており、令和7年3月の竣工を目指しています。

**工事概要**

計画場所	貫井北町	延床面積	7,090.22㎡
	一丁目8番25号	階数	地上4階建て
主な用途	ごみ処理施設	高さ	24.50m
敷地面積	5,446.32㎡	構造	鉄骨造 杭基礎



## 地域情報サイト「ジモティー」を活用したリユース事業（ゆづる輪）をご利用ください

現在、野川クリーンセンターに搬入された粗大ごみから再生可能な家具類の補修等を行ったあと、市が地域情報サイト「ジモティー」にリユース品を掲載し、市民の皆さんに無償で譲渡するリユース事業を10月より実施しています。

なお、今回の事業実施に合わせて「ジモティー」のサイト内に小金井市リユース事業のページを新たに立ち上げました。このページでは市が掲載しているリユース品が確認できますので、ぜひご利用ください。

詳細は、市ホームページまたは下記二次元コードをご覧ください。



# 令和3年度 廃棄物会計 ごみ・資源物処理経費に総額約22億3,956万9千円

**令和3年度のごみ・資源物の処理経費について** ( )内は対前年増減率

ごみ・資源物処理経費総額	22億3,956万9千円 (0.9%減)	ごみ・資源物処理に係る歳入	7億8,404万6千円 (40.5%増)
ごみ・資源物総排出量	28,905 t (2.1%減)		
市民1人当たり	1万7,967円	1世帯当たり	3万5,894円

※経費総額は廃棄物会計上の数字であり、一般会計決算額とは異なります  
※人口124,646人 世帯数62,394世帯は令和3年10月1日時点で計算

**ごみ・資源物処理に係る歳入内訳**

	令和3年度	令和2年度
家庭系ごみ処理手数料	3億2,191万9千円	3億2,186万円
事業系ごみ処理手数料	2,809万4千円	2,699万8千円
自家搬入ごみ処理手数料	6,599万4千円	6,516万9千円
粗大ごみ処理手数料	3,679万5千円	3,723万4千円
可燃・不燃ごみ有価物売り払い収入	4,002万2千円	2,469万円
その他	2億9,120万2千円	8,204万1千円
合計	7億8,404万6千円	5億5,799万2千円

**資源物処理にも多額の経費が使われます**

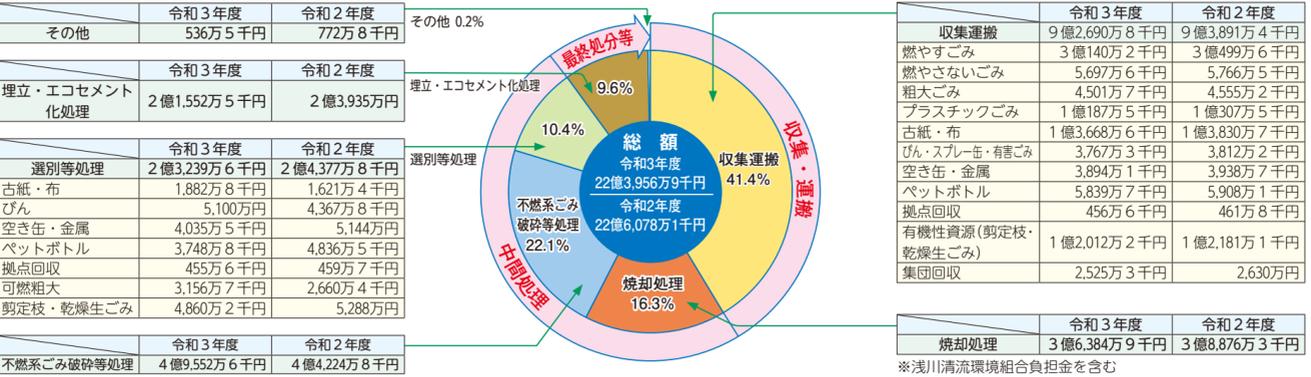
資源物処理（資源物の収集、資源物・燃やさないごみ・プラスチックごみなどの資源化）にかかった経費は、約8億3,192万円（ごみ・資源物処理経費総額の約37.1%）でした。限りある資源を有効活用するため、資源物を分別することはもちろん大切です。しかし、その処理には多額の経費が使われます。そのことから、まずはごみになるものを元から減らす発生抑制（リデュース）に取り組むことが重要です。

**ごみの減量でいちばん大切なことは発生抑制（リデュース）です**

リデュースに取り組んだ後に、使えるものは何度でも使うリユース、分別して資源として再生利用するリサイクルに取り組むことが大切です。引き続き、発生抑制を最優先としたごみの減量・資源化の推進へのご理解・ご協力をお願いします。

**環境基金について**

環境基金は、ごみ処理施設の整備や新たなごみ減量施策、環境保全事業の充実などに充当するため設置しています。令和3年度は環境基金に3億2,803万8千円が積み立てられました。内訳は、家庭系ごみ処理手数料収入3億2,191万9千円の約25%に当たる約8,048万円、一般財源から約1億1,952万円です。



**処理するのにどれくらいかかるのかな？**

燃やすごみ (1kg)	燃やさないごみ (1kg)	プラスチックごみ (1kg)	古紙・布 (1kg)	びん・スプレー缶 (100g当り)	缶 (50g)	2ℓペットボトル (75g)
⇨55.0円	⇨184.6円	⇨166.1円	⇨29.3円	⇨8.7円	⇨9.9円	⇨17.8円

## 夏休み生ごみ投入リサイクル事業の報告

学校の夏休み期間中、市内の小・中学校に設置している電動生ごみ処理機を有効利用するため、夏休み生ごみ投入リサイクル事業を実施しました。

今年度の実施校は9校で、猛暑の中、投入管理のボランティア活動にご協力いただいた方は61人、投入管理延数は1,072人でした。その結果、地域の皆さんの着実な取り組みにより1か月間で約1.5tの燃やすごみを減量することができました。（右表）

ご参加いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

	一小	三小	四小	前原小	緑小	南小	一中	二中	南中	合計
投入日数(日)	6	6	14	6	6	6	5	5	10	64
投入延数(人)	204	39	135	155	152	99	158	82	48	1,072
投入総量(kg)	243	80	128	226	250	168	247	140	44	1,526

## 土曜日に生ごみ投入リサイクルを実施

市内の小・中学校では、毎週土曜日に、学校に設置している電動生ごみ処理機を利用した生ごみ投入リサイクルを、市民の自主的な取り組みとして実施しています。家庭で出る生ごみを投入することができますので、ぜひ、ご利用ください。

また、投入管理のボランティア活動にご協力いただける方を随時募集しています。詳しくは、お問い合わせください。

実施時間・場所	時間	その他
第一小学校	毎週土曜日 午前9時～10時	食用廃油
前原小学校		
緑小学校		
南小学校	毎週土曜日 午前10時～11時	食用廃油
第一中学校		
第二中学校	毎週土曜日 午前9時～10時	

投入できる生ごみは、食品廃棄物に限りません。生ごみは、十分に水切りしてから投入してください。天日干したもののや風で乾燥したものなども投入できます。左表の場所・時間でも食品リサイクル堆肥を無料配布しています

生ごみ処理機への投入の様子